

看護職員実態調査票③ (訪問看護事業所)

調査記入内容等の問い合わせ先
TEL:
FAX:
御担当者名:
(所属)
メールアドレス:

1 基本情報

以下については、令和2年7月1日現在で記入してください。  
 (1) 施設の名称を記入してください。

施設名
-----

(2) 貴施設の住所について市町村名から記入してください。

住所
----

(3) 利用者数  
 2019年(平成31年)～令和元年) 度における利用者の実人員数及び訪問回数合計を記入してください。

医療保険、介護保険の利用者の合算 (単位: 人、回)	
利用実人員	
訪問回数の合計	

2 就業状況

(1) 看護職員実人員及び就業状況

- 令和2年7月1日現在在籍している看護職員について(休業・休職者含む)記入してください。
- 看護職員とは、保健師・助産師・看護師・看護士・准看護師になります。
- 操業免許を有する場合は、実際にやっている業務に最も関係する資格欄に記入してください。
- 常勤換算は小教員以上算入して下さい。  
 (例) 常勤職員が勤務すべき時間が週40時間の場合・・・4週で160時間  
 常勤職員が2人と非常勤A Bの2人の所属  
 非常勤職員Aの勤務時間 4週で50.0時間  
 非常勤職員Bの勤務時間 4週で140.0時間  
 非常勤職員：(合計勤務時間)÷(常勤職員勤務時間) 190÷160=1.1875人  
 常勤換算は、2人+1.1875人=3.1875人 → 3.2人
- 0人の場合は「0」を記入してください。

職種別 (令和2年7月1日現在) (単位: 人)

	※就業者合計(常勤+非常勤)		うち、 60歳以上の 就業者数
	実人員	常勤換算	
保健師			
助産師			
看護師			
准看護師			
合計 ※			

※就業者合計欄について、4頁の「3-(1)」のA表と一致させてください。

(2) 正社員用者のうち、休業・休職者、短時間勤務者、夜勤を行わない者の状況  
 (令和2年7月1日現在の状況) (単位: 人)

休業・休職取得者	短時間勤務者		夜間勤務 免除者
	うち、代替者の 確保ができた者	勤務者	

- 0人の場合は「0」を記入してください。
- 休業・休職には、産前・産後休業、育児休業、病欠休業等を含みます。

**(3) 職員の採用状況**

- ・ 過去3年間（2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度））の職員の採用状況について記入してください。
- ・ 複数免許を有する場合は、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。（例えば、助産師と看護師の免許を所有しているも看護業務を行っている場合は「看護師」欄に記入することとなります。）
- ・ 看護職員とは、保健師・助産師・看護師・看護士・准看護師になります。
- ・ 0人の場合は「0」を記入してください。

	新卒 (免許取得後1年未満の者を含む)		新卒以外 (再就職者等)		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
看護職員					
2017年度 (平成29年度)					
2018年度 (平成30年度)					
2019年度 (令和元年度)					

(単位：人)

**(4) 常勤看護職員の退職の状況**

- ① 過去3年間（2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度））の常勤職員の退職者の状況（人数）を記入してください。
- ・ 0人の場合は「0」を記入してください。

(単位：人)

	常勤職員数 (4月1日現在)	常勤職員の退職者 合計数	
		うち、 新卒職員(再掲)	うち、 定年退職(再掲)
2017年度 (平成29年度)			
2018年度 (平成30年度)			
2019年度 (令和元年度)			

- ② 常勤職員の主な離職理由に該当する上位6項目について番号に○をつけてください。  
なお、新卒者に特有の離職理由は6頁に設問があります。

定年	01	看護職として不適応	13
結婚	02	人間関係	14
出産・育児専念	03	人員不足で多忙	15
家事専念	04	勤務時間が長い・超過勤務が多い	16
本人の健康問題	05	夜勤の負担が大きい	17
家族の健康・介護問題	06	休暇がとれない・とりづらい	18
転職(看護職以外)	07	給与に不満	19
転職(看護職として他の施設に就職)	08	継続教育体制が不十分	20
進学	09	キャリアアップの機会がない	21
転居	10	看護体制の不満	22
通勤が困難	11	組織体制の不満	23
責任の重さ・医療事故が不安	12	不明	24
現職場での修学資金等による就業義務年数が満了した			25
その他( )			26

※ 以下、「その他」を選択した場合には( )に具体的な内容を記入してください。

**3 今後(2025年)の看護職員配置計画**

- (1) 2020年(令和2年)時点の看護職員の必要人員数について

- ① 下記のA表に令和2年7月1日現在の人員数及び不足数を記入してください。  
不足がない場合には「0」を記入してください。  
(「現在の人員数欄」は2頁の就業状況「2-(1)」の①の職種別の就業者合計欄(合計)と一致)

A表 令和2年7月1日現在の看護職員の人数 (単位：人)

	保健師・助産師・看護師・准看護師 合計	
	実人員	常勤換算
令和2年7月1日現在の人員数		
令和2年7月1日現在の不足人数		

- ② 7月1日現在の看護職員の不足が発生している場合について、主な理由1,2,3に○をつけてください。

看護配置基準を上げたため	01	看護配置基準以外の看護体制の充実のため	03
現体制を維持するため	02	休業体職者の代替確保のため	04
その他( )			05

② 新卒者に特有の主な離職要因について、該当する上位3項目の番号に○をつけてください。  
なお、新卒者の離職者がいない場合には、⑨へお進みください。

基礎教育終了時点と現場とのギャップ	01	新卒職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況にある	07
現代の若者の精神的な未熟さや弱さ	02	医療事故を起こす不安が強く萎縮している	08
周囲とのコミュニケーション不足	03	看護業務が整理されていないため、新卒職員が混乱する	09
看護職員に由来より高い能力が求められるようになっている	04	若者が置かれた社会的状況が経済的自立の必要性を弱めている	10
現場の看護職員が新卒新人に教える時間がなくなっている	05	交代制など不規則な勤務形態（夜勤など）による労働負担が大きい	11
新卒職員を計画的に育成する体制が整っていない	06	個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない風土	12
その他 具体的な内容を記載してください	( )	( )	13

③ 貴施設の「新卒者のサポート体制」について、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。

新人看護職員を対象にした教育プログラムがある	01	新人看護職員向け研修に参加しやすい環境がある	07
先輩看護職員がマンツーマンで新人看護職員を指導している（プリセプタリシップ）	02	院外で行うリフレッシュ研修がある	08
プリセプター以外にも先輩看護職員をサポート体制がある（チーム支援）	03	同施設内の他部署を回るローテーション研修がある	09
メンタルヘルス研修を開催しメンタルサポートの強化を図っている	04	修がある	10
プリセプター等の指導者を対象にした指導者研修がある	05	修になし	11
上司による定期的な面接の機会がある	06	その他 ( )	12

④ 中堅期以上の看護職員の場合

中堅期・管理期の看護職員の職場定着を促すために効果を上げている対策について、該当する上位6項目の番号に○をつけてください。

院内保育の充実	01	専門性が発揮できる体制づくり	10
子育て期間中等の夜勤負担軽減	02	看護職員が経営（マネジメント）に参画する機会の提供	11
有給休暇の取得促進	03	職員の声を聞く仕組み	12
超過勤務削減のための取り組み	04	職務満足度を定期的に評価	13
寮や住宅手当など住環境の充実	05	人を育て個人を大切にす風土づくり	14
人事評価の導入	06	上司以外の相談窓口の設置	15
希望を主とした人員配置	07	医療事故防止のための施設全体の取り組み強化	16
多様な勤務形態の導入（外来のみ、夜勤のみ、交代制・3交代制など）	08	キャリアアップの支援ができる教育体制	17
キャリアにに応じた賃金体制	09	外部研修受講への奨励	18
その他 ( )	( )	( )	19

② 2025年(令和7年)に向けた看護職員配置計画(必要人員数)について

- ① 下記の表に令和7年度末までの配置計画を作成してください。
- ・ 日表作成においては、次の設問②の各増減要因を勘案し、令和7年度末までの配置計画を記入してください。
- ・ 配置計画が未確定の場合には、現状(令和2年7月1日現在)の人員数を記入してください。

	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
	看護職員	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算

② 2025年に向けた看護職員配置計画の増減要因について、該当する項目の番号に○をつけてください。

訪問看護部門の充実・見直し (2025年の地域医療構想も視野に入れた在宅ケアの推進に伴い、利用者の増減、利用者の医療ニーズの変化による労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等)	増やす 場合	01	減らす 場合	01
研修体制の充実・見直し (新人看護職員研修、医療安全研修、就業支援研修等)	02	02	02	
勤務環境の改善 (時間外労働上限規制への対応、年次有給休暇取得義務化への対応、育児休業等の取得増加等)	03	03	03	
その他 ( )	04	04	04	

4 看護職員の確保

① 新卒者(免許取得後1年目)の場合

平成29年度以降、新卒者の採用がない場合には、設問の「(2) 中堅期以上の看護職員の確保」へお進みください。

① 新卒者の確保で効果を上げている取組について、該当する上位3項目の番号に○をつけてください。

自施設のホームページ等で求人案内	01	看護実習生の受け入れ	08
ハローワーク登録	02	自施設職員を養成校の外部講師に派遣	09
ナースセンター登録	03	地域の就職ガイダンスに積極的に参加	10
有料人材紹介の登録	04	インターンシップ(施設見学)開催	11
新聞や行政機関等広報紙の活用	05	奨学金制度(修学資金制度)	12
看護学校等養成機関への訪問活動	06	就職支度金助成	13
自施設職員からの紹介	07	職員寮の提供	14
その他 ( )	( )	( )	15

**(3) 専従職者の場合**

- ① 専従職者の確保が効果を上げている取組について該当する上位3項目の番号に○をつけてください。
- |    |                      |    |
|----|----------------------|----|
| 01 | 随時見学、相談ができるようにしている   | 07 |
| 02 | 退職者に「とどけるん」登録を紹介している | 08 |
| 03 | 新聞や行政機関等広報紙の活用       | 09 |
| 04 | 自施設職員からの紹介           | 10 |
| 05 | 特になし                 | 11 |
| 06 | その他 ( )              | 12 |

- ② 入職後の定着促進のための取組状況として、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。
- |    |                   |    |
|----|-------------------|----|
| 01 | 上司による定期的な面接の機会がある | 03 |
| 02 | 上司以外の相談窓口が設置されている | 04 |
| 03 | 特になし              | 05 |
| 04 | 担当制によるサポート体制がある   | 06 |
| 05 | 特になし              |    |
| 06 | その他 ( )           |    |

**(4) 60歳以上の看護職員（プラチナナース）の場合**

- ① 60歳以上の雇用継続措置について該当する項目の番号に○をつけてください。
- |    |                  |                 |
|----|------------------|-----------------|
| 01 | 定年制度の廃止          |                 |
| 02 | 定年制度の延長 ( ) 歳に延長 | ← 延長年齢を記入してください |
| 03 | 65歳までの継続雇用制度の導入  |                 |
| 04 | その他 ( )          |                 |

- ② 60歳以上の職員が従事している主な業務について、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。
- |    |              |    |
|----|--------------|----|
| 01 | 訪問看護         | 04 |
| 02 | 同僚職員や学生の教育担当 | 05 |
| 03 | 入院調整・退院調整    | 06 |
| 07 | その他 ( )      |    |

- ③ 業務負担の軽減として実施している取組について、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。
- |    |         |    |                      |    |
|----|---------|----|----------------------|----|
| 01 | 短時間勤務   | 04 | 受け持ち利用者数の減           | 06 |
| 02 | 短日数勤務   | 05 | 利用者宅が近距離             | 07 |
| 03 | 夜勤の免除   | 06 | 清拭や入浴介助など体力を要する業務の免除 | 08 |
| 09 | その他 ( ) |    |                      |    |

**(6) 特定行為研修修了看護師の配置について**

特定行為研修とは、保健師助産師看護師法の一部改正により平成27年10月1日から始まった制度。厚生労働大臣が指定した指定研修機関において、特定行為研修を修了した看護師は、履修した特定区分について、医師、歯科医師が作成した手順書により特定行為を行うことができる。令和2年3月現在、県内では鹿児島大学病院と今村総合病院が指定を受け研修を開催している。

- ① 現在の配置状況及び今後（2025年度）の活用予定について、○をつけてください。

	ア 職員の有無 (令和2年6月1日時点)	イ 今後の活用予定 2025年度(令和7年度)
特定行為研修修了看護師	01 いる	02 いない 01 ※あり 02 なし

※ 今後の活用予定を「ある」と回答された場合には(5)の設問は終了です。次の設問(6)へお進みください。

- ② 今後の活用予定が「なし」と回答された場合の理由について、該当する項目全ての番号に○を記入してください。

01	特定行為を必要とする患者がいない
02	制度について経営者・管理者の理解が得られない
03	職員・患者その家族の理解が得られない
04	研修修了者が活動できる組織的な体制がない
05	研修を受講できる人材がいない
06	研修派遣中の代替職員の確保ができない
07	その他 ( )

**(6) 看護職員の確保に関し、御意見・御要望等がございましたら、御自由にご記入下さい。**

調査票はこれで終わりです。お忙しいところ、御協力ありがとうございました。

看護職員実態調査票④ (助産所)

調査記入内容等の問い合わせ先
TEL: _____ FAX: _____
御担当者名: _____
(所属) ( _____ )
メールアドレス: _____

1 基本情報

以下については、令和2年7月1日現在で記入してください。  
 (1) 施設の名稱を記入してください。

施設名	_____
-----	-------

(2) 施設の住所について市町村名から記入してください。

住所	_____
----	-------

(3) 利用者数

・2019年(平成31年～令和元年)度における貴施設利用者実人員及び分娩件数を記入してください。

利用者実人員 (うち分娩件数)	( _____ ) 人 件 )
--------------------	-----------------------

2 就業状況

(1) 看護職員実人員及び常勤職員

- ・ 令和2年7月1日現在在籍している看護職員について(休業・休職者含む)記入してください。
- ・ 看護職員とは、保健師・助産師・看護士・看護士に在籍している業務に最も関係する資格欄に記入してください。
- ・ 複数免許を有する場合は、実際に持っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。
- ・ 常勤換算は小人数以下算入して下さない。  
 (例) 常勤職員が勤務すべき時間が週40時間の場合・4週で160時間  
 常勤職員が2人と非常勤A・Bの2人の所属  
 非常勤職員Aの勤務時間 4週で50.0時間  
 非常勤職員Bの勤務時間 4週で140.0時間  
 合計190.0時間  
 非常勤職員:(合計勤務時間)÷(常勤職員勤務時間) 190÷160=1.1875人  
 常勤換算は、2人+1.1875人=3.1875人 → 3.2人
- ・ 0人の場合は「0」を記入してください。

職種別 (令和2年7月1日現在) (単位:人)

	※就業者合計(常勤+非常勤)		うち、 60歳以上の 就業者数
	実人員	常勤換算	
保健師			
助産師※			
看護士			
看護士			
合計※			

※助産師、就業者合計欄について、4頁の「3-(1)」のA表と一致させてください。

(2) 正規雇用者のうち、休業・休職者、短時間勤務者、夜勤を行わない者の状況 (令和2年7月1日現在の状況)

(単位:人)

休業・休職取得者	短時間勤務者		夜間勤務 免除者
	うち、代替者の 確保ができた者		

- ・ 0人の場合は「0」を記入してください。
- ・ 休業・休職には、産前・産後休業、育児休業、病欠休業等を含みます。

**(3) 職員の採用状況**

- ・ 過去3年間（2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度））の職員の採用状況について記入してください。
- ・ 複数免許を有する場合は、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。（例えば、助産師と看護師の免許を所有しているも看護業務を行っている場合は「看護師」欄に記入することとなります。）
- ・ 看護職員とは、保健師・助産師・看護師・看護師・准看護師になります。
- ・ 〇人の場合は「0」を記入してください。

（単位：人）

	新卒 (免許取得後1年未満の者を含む)			新卒以外 (再就職者等)		合計
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	
2017年度 (平成29年度)	看護職員 うち助産師 (再掲)					
2018年度 (平成30年度)	看護職員 うち助産師 (再掲)					
2019年度 (令和元年度)	看護職員 うち助産師 (再掲)					

**(4) 常勤看護職員の退職状況**

- ① 過去3年間（2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度））の常勤職員の退職者の状況（人数）を記入してください。
- ・ 〇人の場合は「0」を記入してください。

（単位：人）

	常勤職員数 (4月1日現在)	常勤職員の退職者 合計数	
		うち、 新卒職員(再掲)	うち、 定年退職(再掲)
2017年度 (平成29年度)			
2018年度 (平成30年度)			
2019年度 (令和元年度)			

- ② 常勤職員の主な離職理由に該当する上位6項目について番号に○をつけてください。

定年	01	看護職として不適応	13
結婚	02	人間関係	14
出産・育児専念	03	人員不足で多忙	15
家事専念	04	勤務時間が長い・超過勤務が多い	16
本人の健康問題	05	夜勤の負担が大きい	17
家族の健康・介護問題	06	休暇がとれない・とりづらい	18
転職（看護職以外）	07	給与に不満	19
転職（看護職として他の施設に就職）	08	継続教育体制が不十分	20
進学	09	キャリアアップの機会がない	21
転居	10	看護体制の不満	22
通勤が困難	11	組織体制の不満	23
責任の重さ・医療事故が不安	12	不明	24
現場での修学資金等による就業義務年数が満了した			25
その他（ ）			26

※ 以下、「その他」を選択した場合には（ ）に具体的な内容を記入してください。

**3 今後(2025年)の看護職員配置計画**

(1) 2020年(令和2年)時点の看護職員の配置人員数について

- ① 下記のA表に令和2年7月1日現在の人員数及び不足数を記入してください。  
不足がない場合には「0」を記入してください。  
(現在の人員数欄)は2頁の就業状況「2-(1)」の①の職種別の就業者合計欄(合計)と一致)

A表 令和2年7月1日現在の看護職員の人数 (単位：人)

	保健師・助産師・看護師・准看護師 合計	
	実人員	常勤換算
令和2年7月1日現在の人員数 (再掲) 助産師数		
令和2年7月1日現在の不足人数 (再掲) 助産師数		

- ② 7月1日現在看護職員の不足が発生している場合について、主な理由の番号1.2に○をつけてください。

看護配置基準を上げたため	01	看護配置基準以外の看護体制の充実のため	03
現体制を維持するため	02	休業休職者の代替確保のため	04
その他（ ）			05

**(2) 2025年(令和7年)に向けて看護職員配置計画(看護人員数)について**

- ① 下記の表に令和7年末までの配置計画を作成してください。  
 ・ 日表作成においては、次の設問②の各増減要因を勘案し、令和7年度末までの配置計画を記入してください。  
 ・ 配置計画が未確定の場合には、現状(令和2年7月1日現在)の人員数を記入してください。

日表 2025年度(令和7年度)末までの看護職員配置計画 (単位:人)

	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
	看護職員	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算	実人員 常勤換算
うち助産師 (再掲)					

- ② 2025年に向けた看護職員配置計画の増減要因について、該当する項目の番号に○をつけてください。

増減要因	増やす 場合	減らす 場合
入所部門の充実・見直し (2025年の地域医療構想も視野に入れた病床数の増減及び労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等)	01	01
外来・通所部門の充実・見直し (医療ニーズの高い外来患者や産後ケア利用者の増減、労働時間の見直し等)	02	02
病院管理・看護管理部門の充実・見直し (労務管理などのマネジメント機能の強化、リスクマネジメントの配置等)	03	03
訪問看護部門の充実・見直し (在宅ケアの推進、労働時間の見直し等)	04	04
研修体制の充実・見直し (新人看護職員研修、医療安全研修、再就業支援研修等)	05	05
勤務環境の改善 (時間外労働上限規制への対応、年次有給休暇取得義務化への対応、育児休業等の取得増加等)	06	06
その他 ( )	07	07

**4 看護職員の確保**

**(1) 新卒者(免許取得後1年目)の場合**

平成29年度以降、新卒者の採用がない場合には、設問の「(2) 中堅期以上の看護職の場合」へお進みください。

- ① 新卒者の確保が効果を上げていない取組について、該当する上位3項目の番号に○をつけてください。

01	看護実習生の受け入れ	08
02	自施設職員を養成校の外部講師に派遣	09
03	地域の就職ガイダンスに積極的に参加	10
04	インターンシップ(施設見学)開催	11
05	奨学金制度(修学資金制度)	12
06	就職支度金助成	13
07	職員寮の提供	14
	その他( )	

- ② 新卒者に特有の主な離職要因について、該当する上位3項目の番号に○をつけてください。  
 なお、新卒者の離職者がいない場合には、⑨へお進みください。

01	新卒職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況にある	07
02	医療事故を起こす不安が強く萎縮している	08
03	看護業務が整理されていないため、新卒職員が混乱する	09
04	若者が置かれた社会的状況が経済的自立の必要性を弱めている	10
05	交代制など不規則な勤務形態(夜勤など)による労働負担が大き	11
06	個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない風土	12
	その他 具体的な内容を記載してください ( )	13

- ③ 貴施設の新卒者のサポート体制について、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。

01	新人看護職員を対象にした教育プログラムがある	07
02	新人看護職員向け研修に参加しやすい環境がある	08
03	院外で行うリフレッシュ研修がある	09
04	同施設内の他部署を回るローテーション研修がある	10
05	研修者に対する指導者研修がある	11
06	上司による定期的な面談の機会がある	12

**(2) 中堅期以上の看護職員の場合**

中堅期・管理期の看護職員の職場定着を促すために効果を上げている対策について、該当する上位3項目の番号に○をつけてください。

院内保育の充実	01	専門性が発揮できる体制づくり	10
子育て期間中等の夜勤負担軽減	02	看護職員が経営（マネジメント）に参画する機会の提供	11
有給休暇の取得促進	03	職員の声を聞く仕組み	12
超過勤務削減のための取り組み	04	職務満足度を定期的に評価	13
寮や住宅手当など住環境の充実	05	人を育て個人を大切にする風土づくり	14
人事評価の導入	06	上司以外の相談窓口の設置	15
希望を生かした人員配置	07	医療事故防止のための施設全体の取り組み強化	16
多様な勤務形態の導入（外来のみ、夜勤のみ、2交代制・3交代制など）	08	キャリアアップの支援がでる教育体制	17
キャリアアにに応じた資金体制	09	外部研修受講への援助	18
その他（			19

**(3) 再就職者の場合**

① 再就職者の確保で効果を上げている取組について該当する上位3項目の番号に○をつけてください。

自施設のホームページ等で求人案内	01	随時見学、相談ができるようにしている	07
ハローワーク登録	02	退職者に「とどけるん」登録を紹介している	08
ナースセンター登録	03	新聞や行政機関等広報紙の活用	09
有料人材紹介の登録	04	自施設職員からの紹介	10
退職した元職員を勧誘している	05	特になし	11
集団説明会に参加している	06	その他（	12

② 入職後の定着促進のための取組状況として、該当する全ての項目の番号に○をつけてください。

知識・技術習得のための研修・教育プログラム	01	上司による定期的な面接の機会がある	03
ラムの充実	02	上司以外の相談窓口が設置されている	04
担当制によるサポート体制がある	03	特になし	05
その他（			06

**(4) 60歳以上の看護職員（プラチナナース）の場合**

① 60歳以上の雇用継続措置について該当する項目の番号に○をつけてください。

定年制度の廃止	01
定年制度の延長（	02
65歳までの継続雇用制度の導入	03
その他（	04

② 60歳以上の職員が従事している主な業務について、該当する項目全ての番号に○をつけてください。

入所者への助産師業務	01	管理職	05
外来者への助産師業務	02	地域連携業務、患者家族の相談業務	06
看護職員や学生の教育担当	03	医療安全管理者	07
入院調整・退院調整	04	その他（	08

③ 業務負担の軽減として実施している取組について、該当する項目全ての番号に○をつけてください。

短時間勤務	01	夜勤業務の見直し	05	配置転換	08
短日数勤務	02	受け持ち患者数の減	06	特になし	09
夜勤の免除	03	分娩介助など体力を要する業務の免除	07	その他	10

(5) 看護職員の確保に関し、御意見・御要望等がございましたら、御自由にご記入下さい。

[ ]

調査票はこれで終わりです。お忙しいところ、御協力ありがとうございました。